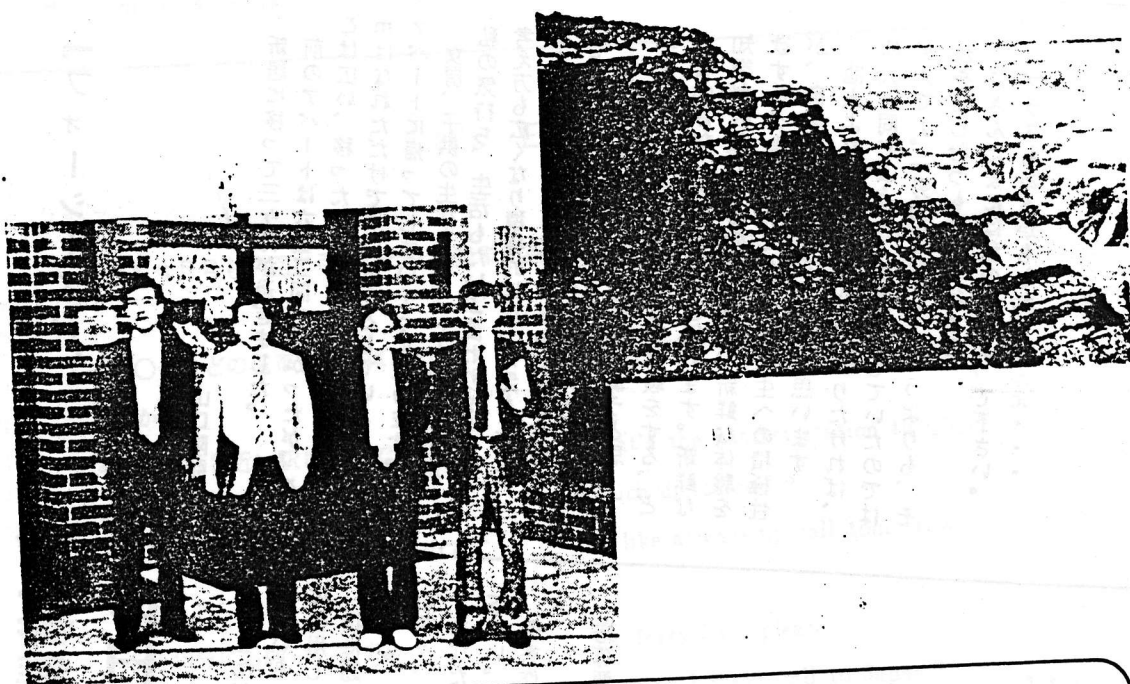


波 紋

木村部長 光田課長

北アメリカ研修旅行



交 差 点

「新社屋はいつできるの？」

大変長らくお待たせ致しました。

モーリンの新社屋計画が、具体的に動きはじめました。

幹部会で、三つに選ばれた案をご紹介します。

A案 現在地に建て変える（四・五階建て）

B案 会長所有地（五〇〇坪）現在地より

五〇〇mの近隣地に新築する。

C案 自前の広い土地（約一〇〇〇坪）を取
得する（数年後そこに建てる）

以上の三案より決める事になりました。
そして、現本社工場は、そのまま残す事で意

見はほぼ一致しています。

移転予定部門は、営業・スリッター・たい

やき君・裁断・ウェルター等です。

現在のせまい場所から、いずれも二倍近
い広さを確保したいと考えています。

広い場所を利用し、最大限効率よく使用し、
お客様に、仕入先様にサービスを向上させる

と共に、社員の皆さんをも段取りよく仕事を終
えて、三〇分でも早く帰宅出来るよう一日も

早く新社屋完成を急ぎます。

完成の時にはバートさんをはじめ、家族の
皆さん共にお祝いのパーティーを開きましょ
う。



トシ君の一方通行

「教師びんびん物語」

木村英利

もう終了したTV番組であるが、我が息子が好きであり、長男が塾へ行っているのでダビングしてあるのである。

初めからこちとら見る気はなかった。

偏見である。どうも日本の芸能界なるものは、ちょっと売れてくると、十代の坊やがへたくソなとても歌とは表現できないなにかをわめいている。そして役者が少ないのか、それともいなくなったのか、歌手と称するのが出演するのである。

私は決して芸能評論家ではないが・・・。
ところがあるこの教師びんびん物語が大変おもしろいのである。

田原何々という歌手なるものは知らないが、演技がうまくないところがこの番組に合っているし、又この番組の中で今の世の中に失われつつある、純情とか、誠実とか、教師が子供に對してのひたむきなまままでの愛情が非常にキザなセリフが多いのに、すんなりこちらに胸の中に溶けこんでくる。

お恥ずかしい話ではあるが、涙まで流しちゃう。何故であろうか、本当はこういう教師に憧れているのではないか、子供も大人も。あれは、田原何々が演じたから良かったのである。

「フォーシーズン」

山口隆弘

新居に移って三ヶ月が過ぎました。

前のアパートは六畳二間で狭かったが、ここは広い、移ったといっても、ほんの二〇〇mはなれただけです。ポーとしていると前のアパートに帰ってしまいそうになります。

女房、子供の生活も変わったと思いますが、私の気持ち、生活もだいが変わりました。

考え方も広くなり積極的になった気もしますが、家が変わるといっはなかなかできませんが、より深い人生を送るために「一日一新」ということを今後できるだけ実行しようと思っています。一日に一つは新しい体験をする、どんな小さなことでもいいと思います。新鮮な知識が吸収できると同時に、新鮮な体験を欲するクセがついてくると、人生への積極性、自然と身についてしまおうと思います。

他人よりも充実した人生を送りたければ、他人と同じようにノホンとしていたのではダメです。「努力する」というよりも、それを楽しむつもりで実行する。

皆さんたまには私の家によって下さい。
プラスもあるかもしれせんよ・・・。

募集!!

PHOTOGRAPH

あなたが撮った写真を募集します。
良いものは将来新社屋のインテリアの一部に使用してみたいと思っています。

特に題材は問いません。美しい自然をとつたもの、フアイトいっぱい画面にあふれたもの等々。

あなたの素晴らしい感覚で是非とってみて下さい。御応募お待ちしております。

優秀作品には金一封が出ます。

応募要領：モリンググループ従業員に限る

手札サイズ以上

カラー・モノクロ問いません

締切六十三年十一月三十一日

お問い合わせは編集部まで



アメリカ研修旅行

七・十七、七・二十三

光田 昭男

「アメリカ」ほんの針の先ほどしか見てないのですが、すごいです。

何を見てもスケールが違います。十七日ボーイング七四七エンジントラブルにより予定より六時間遅れてシアトル到着。(機内の中、約十六時間) 完全な時差ボケです。アメリカ入国、全然駄目な English の始まりです。Freeway を走り、エヴァレットバ、シフィクホテルに到着、めっちゃめちゃ水がおいしいのにビックリ!

翌日、興国USA (アキレス) 工場見学。

工場内はきれいに整理されていました。キャレンダーから出てくるビニールは、アメリカと日本の需要の差を感じた。

「硬いビニール」が多いです。

その他原反の管理、サンブル原反の管理、バレット輸送法等々、勉強になりました。

土地が安いのか、スペースを考えたすばらしい工場でした。

今回メソンの 20th Century.

ビニール加工工業では、日本で考えられない販売方法・設備をしていました。工場・倉庫で、約三、〇〇〇坪の中に、ウェルター機・ロータリー・自動機 計十六台、ホットスタンプ五台。スリッター機・オートカッター・印刷機・金型製作設備といった具合で、何から何まで設備された工場でした。

私のような人間に、アメリカを体験させて頂いた事を、感謝しております。

有難うございました。

Let's English!

さあ今月号も前回に引きつづき、簡単な英会話を御紹介します。どうぞ参考にして下さい。

〇〇へはどの電車に乗ればいいですか。

Which train goes to 〇〇?

〇〇に一番近い駅はどこですか?

What's the nearest station to 〇〇?

どちらの方角ですか。

Which direction?

モーニングコールを頼みたいのですが。

I'd like a wake-up call tomorrow.

6時45分をお願いします。

Six forty-five, please.

日本へ電話をかけたいのですが。

How do I make call to Japan?

コレクトコールをお願いします。

I'd like to make a collect call.

もう一度云って下さい。

I beg your pardon.

もう少しゆっくり話してもらえますか?

Could you speak slowly?

きょうのおすすめは何ですか?(食事)

What's the special for today?

部屋に鍵を置き忘れてしまいました。

I left my key in my room.

これは、チップです。

Here's a tip for you.

おつりはとっておいて下さい。

You can keep the change.

会計をお願いします。

Check, please.

今月の社内行事

八月

- 一日 経営会議
午前七時半より
- 六日 F・M・S
- 八日 幹部会議
午前七時半より
- 十一日
お盆休み
- 十六日
幹部会議
午前七時半より
- 二十二日 幹部会議
午前七時半より
- 二十三日 中堅幹部会議
午前七時半より
- 二十五日 野球練習試合
稲永公園
Eグランドにて
- 二十九日 対戦相手 【花井組】
幹部会議
午前七時半より
- 三十一日 Y・M・S

我が家の事件簿

津々木弘子

森松に入って、七ヶ月と少々、生活のためにと、バートに出た所、仕事だけだと思ひ、まさか、作文らしき物を書くとは思ひませんでした。

これこそ私の事件簿、連絡をいただいた時は、目の前が真暗になりました。何を書けばよいか、体の力が抜けたと同時に、もう「あの」事しかないと思ひペンをとりました。

仕事に出て一ヶ月後、私たちの知り合ひの方によって、ボーリングを初めました。

主人は、昔取った杵柄、病気が初まりました。

私が、ボーリングをこんなに凝り初め、マイボール、マイシューズ、と揃えても、なかなか、アベレージが上がらず、一時、ボーリングを止めておりましたが、名古屋第一、第二グランドボウルにて、人の打つ後姿など見学などして人の良い所など盗み勉強などしましたが、やはり「どんくさい」のでしょうか？、六月の十四日、名古屋第二グランドにてダブルスリーグ戦にて、午後九時半頃、パーフェクトが出ました。十フレにて、あと一回、打つと、パーフェクト、リーグ仲間によって大歓声、拍手、喝采、スコアシートが、真黒、言葉が出ませんでした。私も少し、がんばって、アベレージを上げたいと思います。もちろん仕事も、こいも、四六四九、お願いします。

今月のことば

体験して
はじめた
身づくろい
なまめ
みつを

編集後記

梅雨が明けましたら一気に夏到来の暑さ！ じめじめした梅雨より、カーッと照りつけてもいっそのこの暑さの方が、気分爽快という気持ちになるのではないのでしょうか。

又、花火が夜空を彩り、一瞬でも暑さを忘れる様です。

私も小さい頃、お祭りの夜に両親につれられ花火を見に行った事を覚えていますが、あのドーンといった後、一輪の花の様に広がる大きな花火。

思わず吸い込まれていく様ですね。

やはり夏には、かかせないもの一つです。

しかし、夏といえはどうしても疲れを感じがちですが、編集部全員この夏を乗りきる勢いで頑張りたいと思います。

富田美千代

クイズコーナー

<解答>

A地からB地まで120km

B地からC地まで200km

※たくさんのお応募ありがとうございました。
抽選にて、3名様には商品の発送をもって発表にかえさせていただきます。(今月中にお送りします)

編集発行者
森松株式会社
発行責任者
橋本正子
昭和63年8月1日
第38号